

分野	品格あるくまもと	戦略	誇りに満ちた魅力あふれる地域社会の創造
		重点的に取り組む施策	くまもと文化の創造と継承、発信

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上：H21予算 中：H21決算 下：H22予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
1	鞠智城整備事業	65,692	現在、第2次鞠智城保存整備基本計画に基づく整備事業を着実に実施している。平成20年10月に「百済系菩薩立像」が出土し、鞠智城の歴史的・文化的価値が改めて確認された。また、一層の知名度向上を図るため、「東京シンポジウム」等の実施により、国営公園化の最重要課題である「特別史跡」指定に向けて取り組んでいる。 今後とも、地域の関係機関と連携し、国営公園化に向けた取り組みを推進する。	○平成21年度の実績、成果 平成20年10月の百済系菩薩立像の出土後、鞠智城の文化的価値に関心が寄せられ、10万人を超える来場者を集めた。 こうした中、特別史跡の指定及び国営公園化を目指し、東京都にて鞠智城シンポジウムを開催した。700名以上の参加者があり、全国的に鞠智城のPRができた。また、国等の関係機関への要望活動も併せて実施した。
	教育庁文化課	27,867		66,571
2	鞠智城地域活性化策PR事業（H21年度は、「鞠智城公園化推進事業」）	9,000	鞠智城の歴史的価値の認知度及び全国的な知名度を向上させるため、国外、東京、九州、県内、また全国的な歴史イベントにおいてPR活動を行う。	○平成21年度の実績、成果 東京シンポジウム等による全国PRを行うとともに鞠智城イメージキャラクターを公募し決定した。
	都市計画課	9,000		17,665
3	鞠智城公園計画調査事業	60,000	鞠智城を歴史公園として価値あるものにするためには、鞠智城単体ばかりでなく、条里制水田や不動岩、菊池川流域などの周辺を取り込みながら、「ゆるやかな公園」として開発抑制や景観保全を図ることが求められている。このため、現況の土地利用や法規制を調査把握したうえで、山鹿市、菊池市と連携を図りながら、景観農振地域や景観形成地域、緑地保全地区などの規制誘導手法に関するマスタープランを策定し、市民のコンセンサスを図る手法や住民の行動指針に関する基本計画を策定する。	○平成21年度の実績、成果 基礎資料として1/2,500の測量図面の作成や公園の利用プログラムに必要な自然環境調査を行うとともに整備基本計画の検討を行った。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 「鞠智城の国営公園化」に向けて、歴史的・学術的価値の全国へのPR、関係機関と連携した要望活動を進め、広く国民の理解を得るために、鞠智城の歴史的な価値の磨き上げを行う。
	都市計画課	19,247		30,000
4	世界文化遺産登録推進事業	21,493	・「阿蘇」、「九州・山口の近代化産業遺産群」（旧万田坑、三角西港）、「天草のキリスト教関連遺産」の世界文化遺産登録を推進	○平成21年度の実績、成果 ・推進主体となる推進協議会の設置や文化財国指定に向け構成資産の学術的検討を行う専門家委員会を設置。また、各資産について、シンポジウムを開催するなど住民理解の浸透を図った。
	教育庁文化課	18,572		29,640
5	文化財広域連携推進事業	-	広域にわたり分布する文化財の価値付けや「歴史回廊くまもと」の素材ともなる新たな文化財の指定等を推進	○平成21年度の実績、成果 -
	教育庁文化課	-		2,460

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上：H21予算 中：H21決算 下：H22予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
6	永青文庫推進事業	67,981	熊本県の芸術文化や観光振興に寄与することを目的として、公益財団法人永青文庫が所蔵する美術品等の一部を熊本県立美術館永青文庫展示室に常設展示するとともに、展覧会への活用を目的とした調査事業、修復事業を行う。また、啓発事業（講座・ワークショップ等）や広報事業を通して、県内外に永青文庫の周知を図る。	○平成21年度の取組みの実績、成果 ・年4回の企画展を開催し、県内外から2万2千人の来館者があり好評を得た。 ・永青文庫預かり品の「甲冑」の修復、及び寄託品の屏風、掛軸の修復発注（H21～H22）を行った。 ・永青文庫預かり品の調査研究（国庫補助事業）を実施し、武器武器類の約78%の精査が完了した。 ・永青文庫周知のための「講座細川コレクション」を講堂で6回実施し、400名以上が聴講し好評を得た。 ・古文書のうち、織田信長などの書状を含む中世文書について調査を実施。また、近世文書のうち目録作成のため1万点の調査を終了。
	教育庁文化課	61,717		○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・九州新幹線全線開業を記念した特別展を開催するとともに、熊本城エリアにある各文化施設とも連携を図りながら、魅力的な展示テーマにより、県内外に展示内容についての広報活動を展開していく。 ・熊本大学永青文庫研究センターとの連携を図りながら魅力ある展覧会の企画や、永青文庫への興味を更に深めるため定期的な講座やイベントを実施する。
7	県立劇場管理運営事業	379,901	・舞台芸術を中心とした芸術文化の振興を図るため、指定管理者制度による熊本県立劇場の施設の管理運営（指定管理者：(財)熊本県立劇場）を行うとともに、県と指定管理者共同により文化事業を企画・実施する。	○平成21年度の取組みの実績、成果 第2期指定管理の初年度として、利用者に対するサービスの向上と県立劇場の利用促進に努めた結果、県劇入場者数、コンサートホール及び演劇ホール利用率ともに目標数値を上回った。 平成21年度入場者 目標500,000人 実績540,914人 文化事業参加者 目標32,000人 実績38,769人 コンサートホール利用率 目標73% 実績74.1% 演劇ホール利用率 目標83% 実績83.9%
	文化企画課	378,564		○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 第2期指定管理の2年目として、施設及び設備の安全・快適な利用の提供等指定管理者によるサービスの向上等に努めるとともに、県立劇場文化事業を核として熊本文化の向上と情報発信を図る。
8	熊本県芸術文化祭推進事業	12,100	・本県の芸術文化の振興を図るため、文化団体との協働による熊本県芸術文化祭を開催する。（9月～12月）	○平成21年度の取組みの実績、成果 ・参加事業172事業 ・参加人員 約22万人 ・オープニングステージでは、県内ハレエ工団体が協働して「白鳥の湖」の全幕公演を実施。取組の経緯がTV番組として取りあげられ、県内外から高い評価を得た。
	文化企画課	11,492	・オープニングステージでは、熊本を舞台とした創作劇を県内の演劇人が協力して実施。	○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・H23年度以降のオープニングステージ事業の新たな事業コンセプトを検討し、予算確保を図るとともに文化団体と協働し、参加事業の拡大を図る。
9	博物館関係資料活用・学習支援事業	14,934	・新しい時代を切り拓く独創性と個性をもった人材を育成するとともに、熊本の自然や文化を次世代に引き継いでいくため、自然観察会や歴史探訪会等のフィールドミュージアムや企画展示、移動体験教室等の県民参加の博物館活動を行う。	○平成21年度の取組みの実績、成果 ・県内各地でのフィールドミュージアムの開催や他の博物館等と連携した企画展示などの博物館活動を行うことにより、前年を大きく上回る参加者があった。
	文化企画課	12,527		○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・松橋収蔵庫での博物館活動が広く県民に周知されていないため、広報の充実強化を図る。
10	元気な高齢者によるくまもと文化の継承と発信	-	高齢者を対象に、身近な自然・文化資源を調査研究する地域のリーダーとなり得る人材を育成する講座（自然・伝承文化・歴史の3分野）を実施し、講座修了者を「くまもと自然と文化の学芸員」として認定する。また、次年度以降、県内外へ熊本の自然・文化資源の情報を発信できるよう、「くまもと自然と文化の学芸員」の調査研究、情報発信活動を支援する。	○平成21年度の取組みの実績、成果 -
	文化企画課	1,727		○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・自然、伝承文化、歴史の各3分野において、講座、演習等を実施し、自然・文化資源を調査研究するとともに、情報発信を行う人材を育成する。